

第2回読書活動推進に関するヒアリング  
ご説明資料

子どもたちの読書活動の  
実態に関して

2017年9月12日（火）

ベネッセ教育総合研究所

木村治生 邵 勤風 橋本尚美

# 本日のご報告

2

## ● 目的

- ①子どもたちの**読書活動の状況**を明らかにする。
- ②高校生をはじめとする子どもたちの**意識や価値観、行動の特性**について明らかにする。
- ③発達段階に応じた**読書習慣の形成**や**読書推進**にあたってのヒントを得る。

## ● 内容

- ①「本を読む時間」の学年変化、性差などの基本情報
- ②「本を読む時間」の成績差や資質・能力との関連
- ③家庭環境（保護者）の影響
- ④メディア利用における「読書」の位置づけ

## 留意点

3

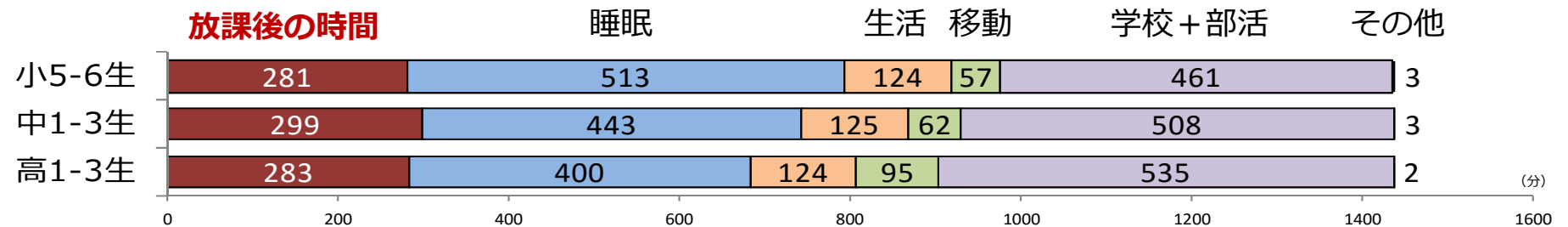
- 以下では、いくつかの異なる調査から、子どもたちの読書の傾向を分析しています。本来は、調査条件の違いなどを加味しながら、詳細にデータを検討する必要がありますが、時間の都合で十分な言及ができません。
- 報告で扱っている調査は、次の通りです。詳細については、ホームページをご確認ください。
- 放課後の生活時間調査**  
<http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=4700>
- 子どもの生活と学びに関する親子調査**  
<http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=5095>
- 学習基本調査調査**  
<http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=4862>
- 中高生のICT利用実態調査**  
<http://berd.benesse.jp/shotouchutou/research/detail1.php?id=4377>

# 生活に占める「読書活動」の比率

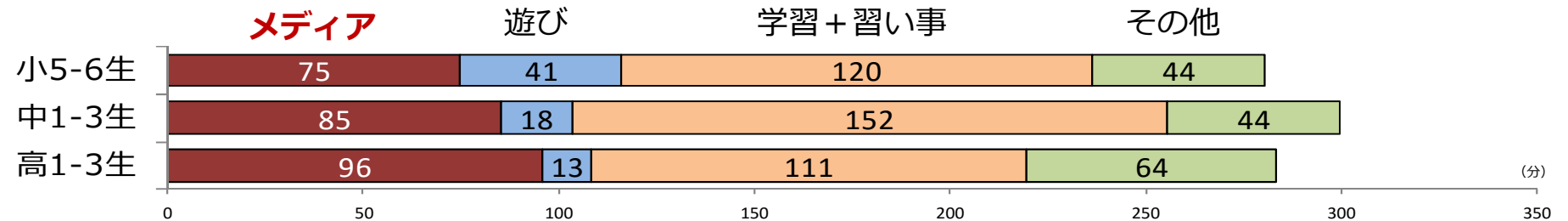
4

読書に費やす時間は、放課後の時間のなかの1～2%程度。

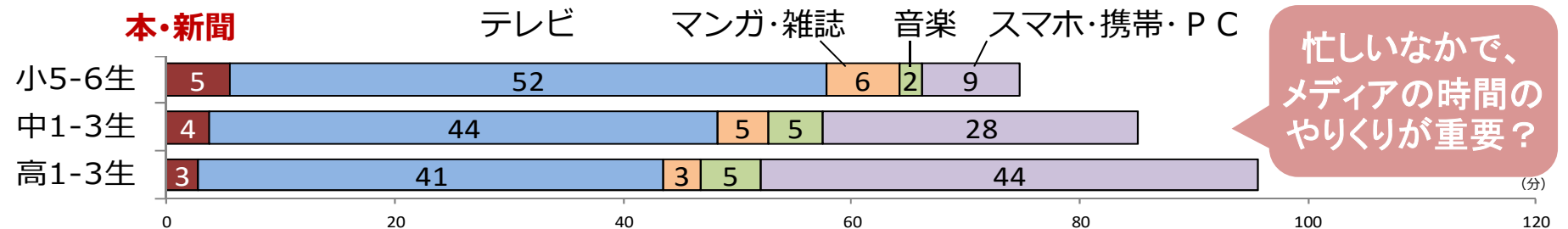
## ● 生活時間（24時間＝1440分）



## ● 放課後の時間



## ● メディアの時間



忙しいなかで、  
メディアの時間の  
やりくりが重要？

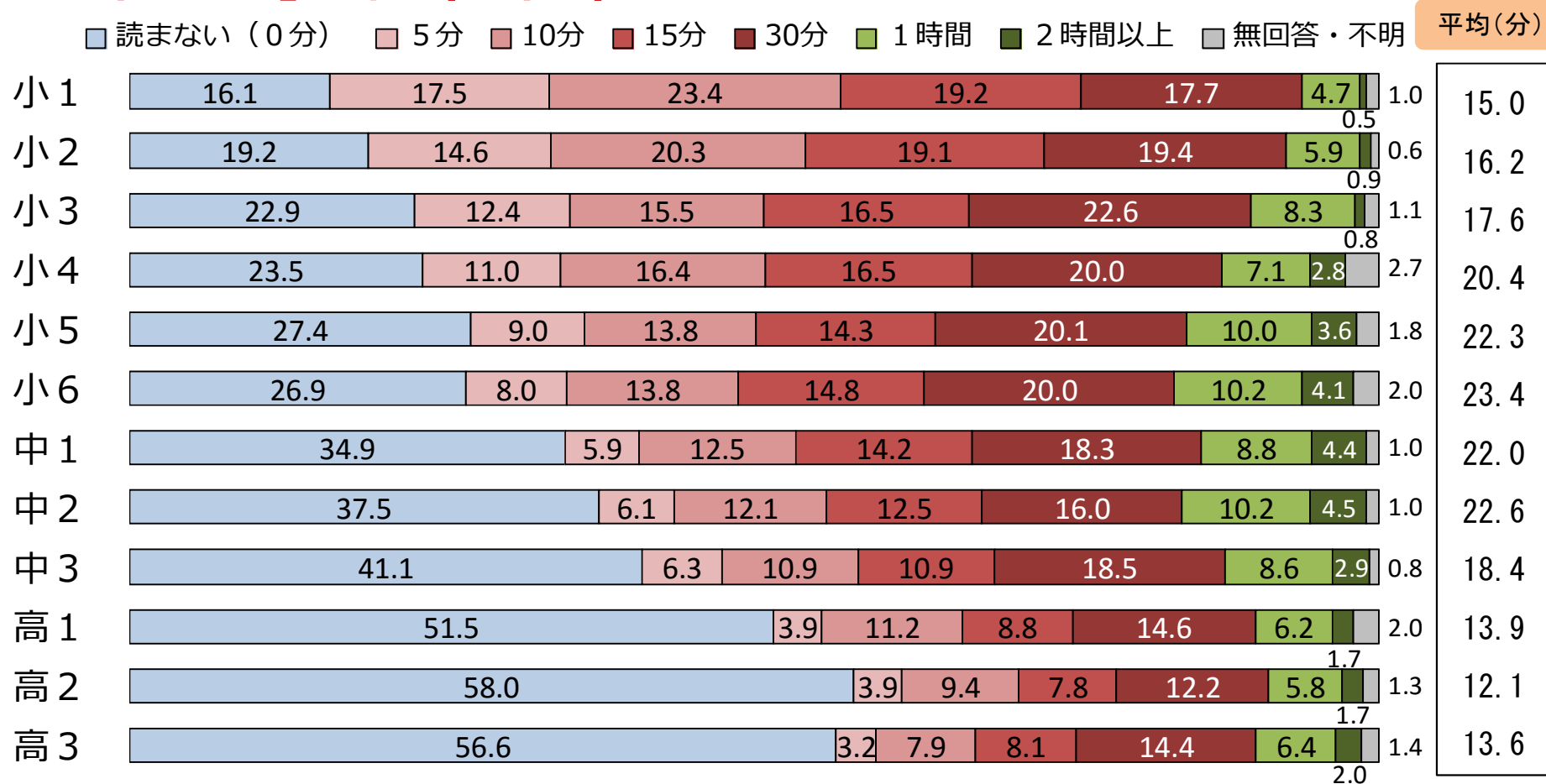
- \* 数値はいずれも平均時間（分）。15分刻みに1日（24時間）の行動記録を記入してもらった結果を換算。
- \* ながら行動や15分に満たない行動が多い「メディアの時間」は、短く算出されやすいことに留意。
- \* ベネッセ教育総合研究所「放課後の生活時間調査」2013年。

# 「本を読む」時間の学年推移①

5

読書時間は学年が上がるにつれて減少し、高校生は半数以上が「0分」

## ● 「本を読む」時間（学年別）



\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*小1～3は保護者の回答。小4～高3は子どもの回答。平均時間は読まない人＝0分として算出。無回答・不明は除外。

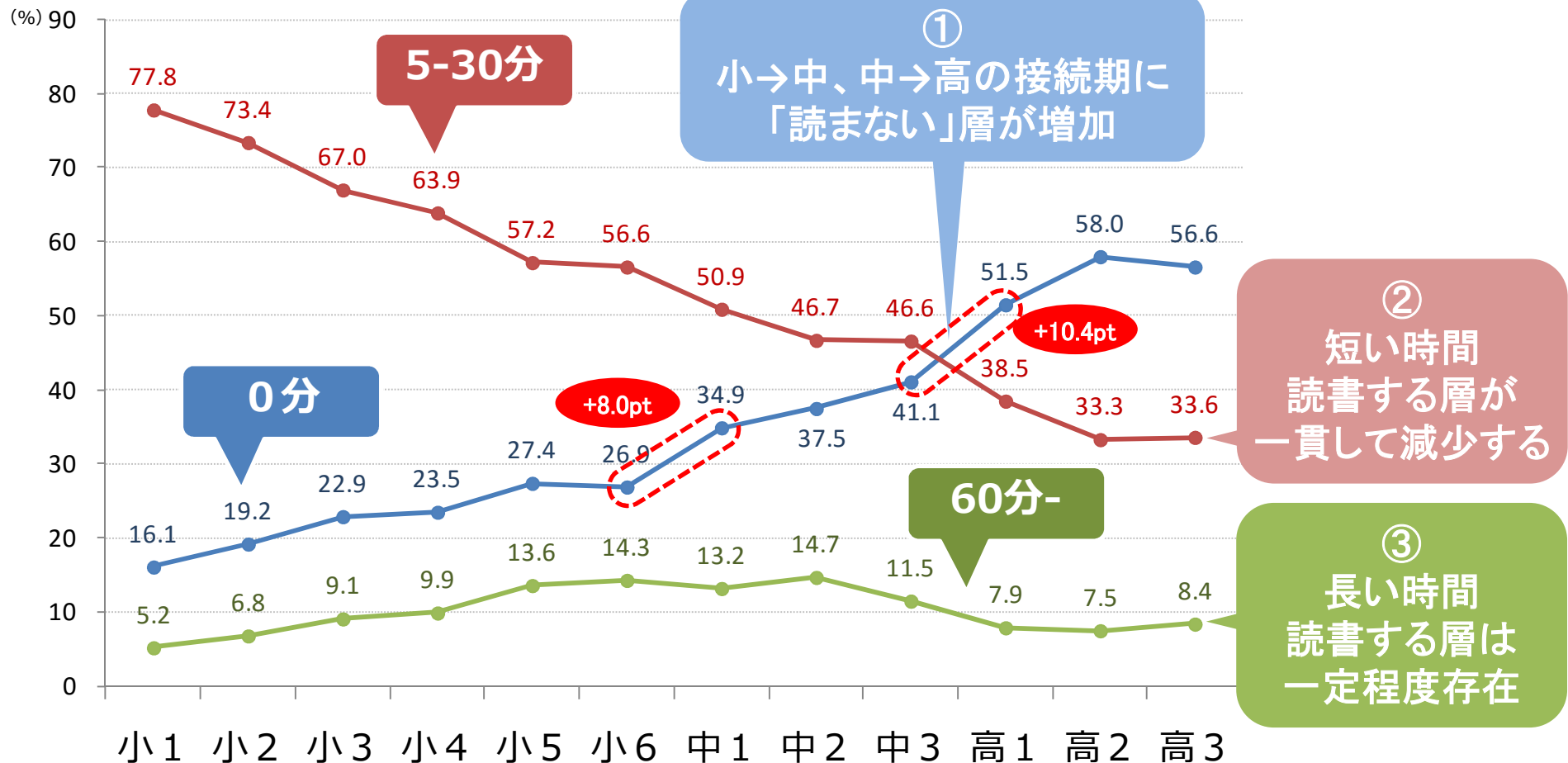
\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

# 「本を読む」時間の学年推移②

6

「読まない層」は接続期に増加。「多読層」は学年を問わず一定程度存在

## ● 「本を読む」時間（学年別）



\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*小1～3は保護者の回答。小4～高3は子どもの回答。「5-30分」は「5分」「10分」「15分」「30分」の合計、「60分-」はそれ以上の合計。

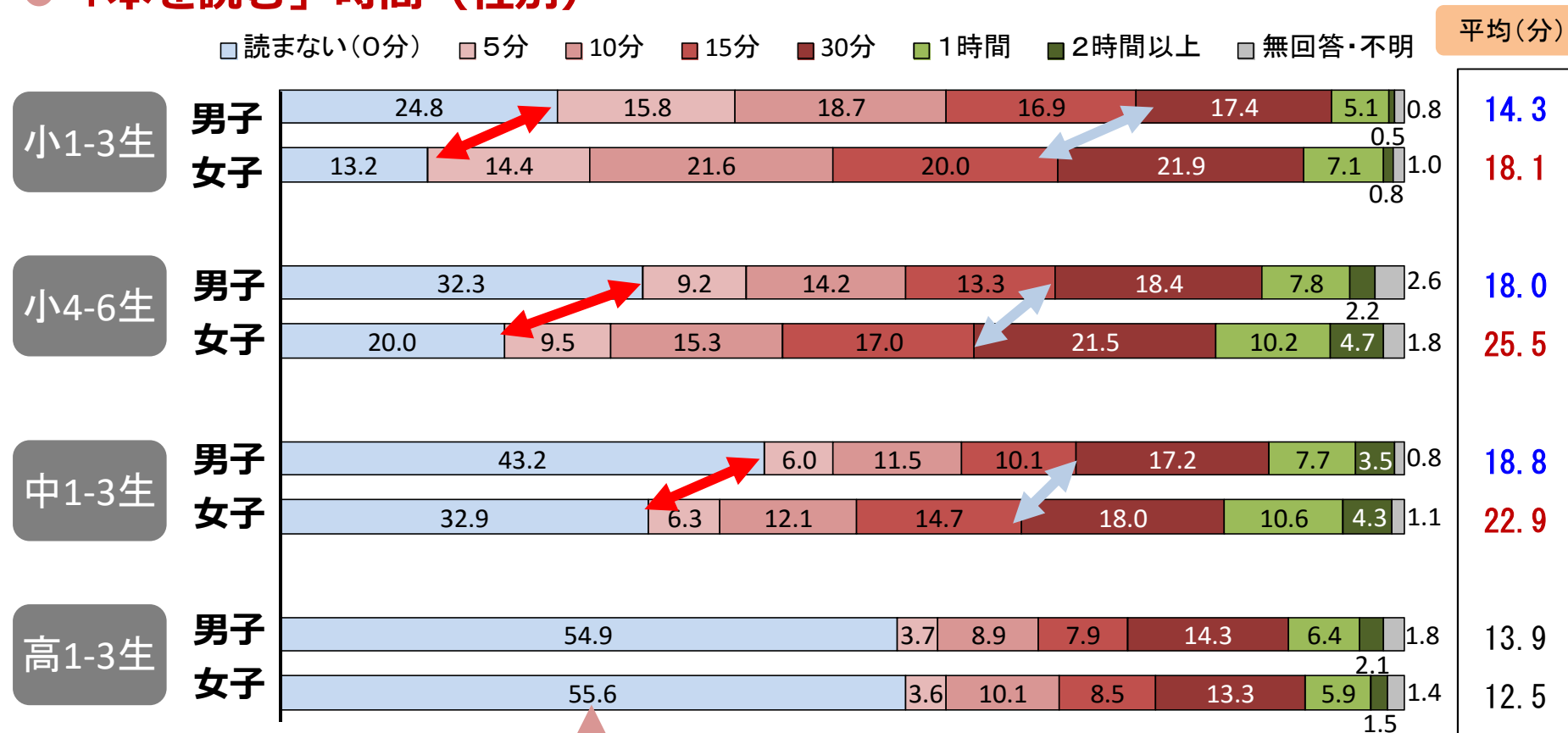
\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

# 「本を読む」時間の性差

7

中学生までは、女子 > 男子。高校生は性差がなくなる。

## ● 「本を読む」時間（性別）



中学から高校にかけて、女子の読書ばなれが進む

- \*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。
- \*小1～3は保護者の回答。小4～高3は子どもの回答。平均時間は読まない人＝0分として算出。無回答・不明は除外。
- \*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

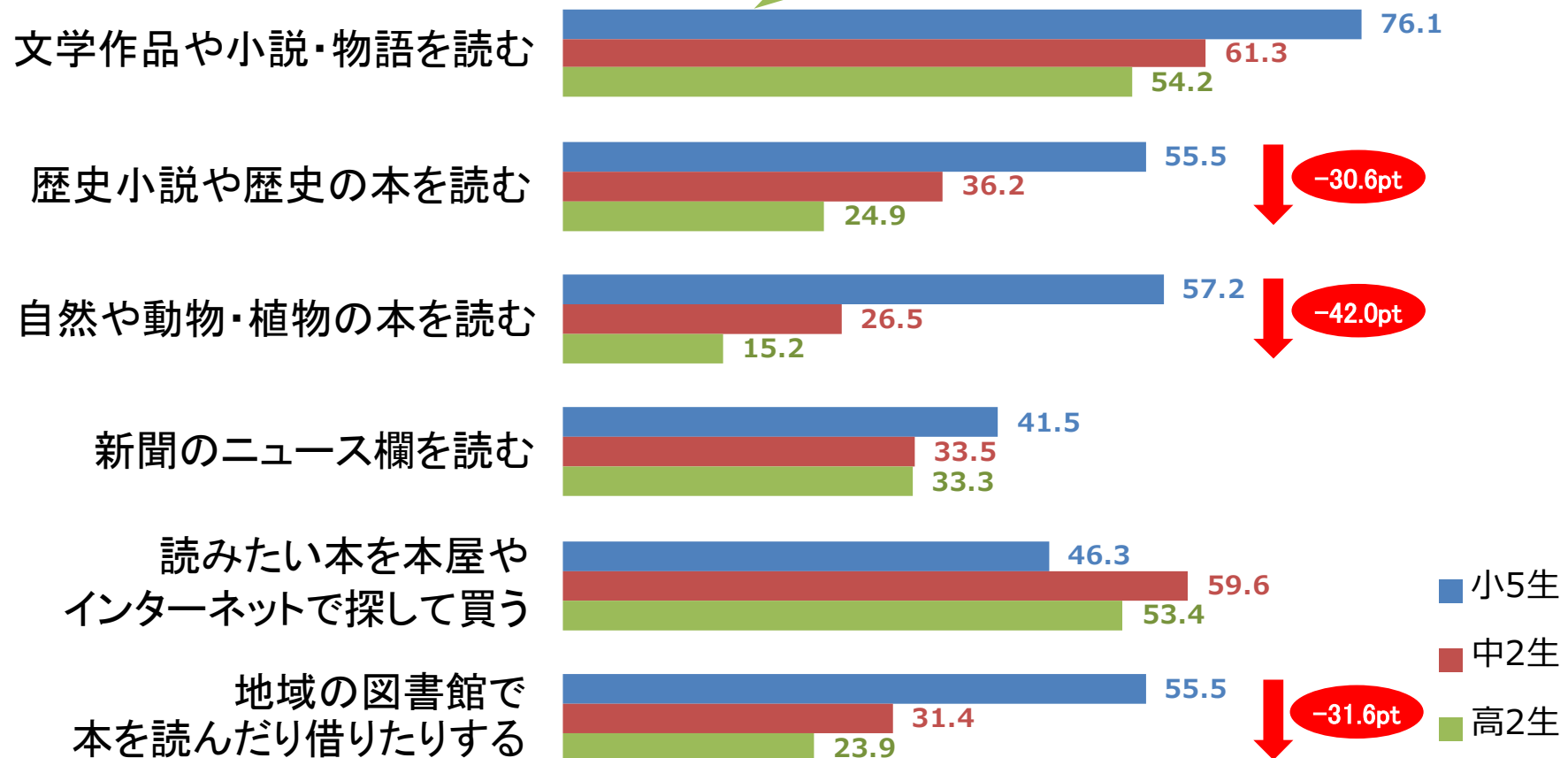
# 学校段階による読書行動の違い

8

中高生は「自然科学の本」が大きく減少。図書館にも行かなくなる。

## ● 読書行動（学校段階別）

文学は高校生も半数以上が読むと回答



\*「あなたは、ふだん（学校の授業や宿題以外で）次のことをどのくらいしますか」という設問に対する回答（％）。

\*数値は、「よくする」「ときどきする」の合計（％）。

\*ベネッセ教育総合研究所「第5回学習基本調査」2015年。

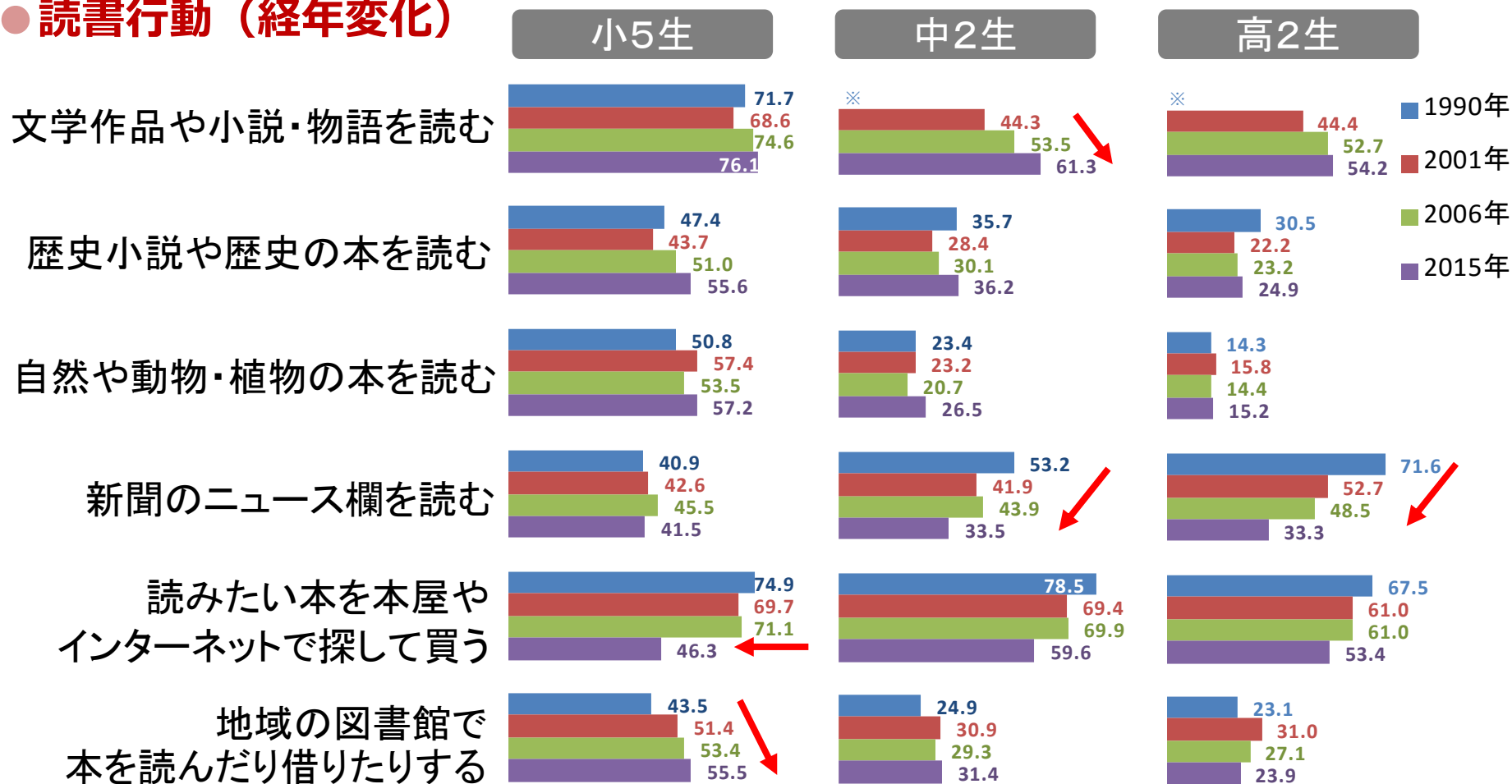


## 読書行動の経年変化

9

中高生は「新聞」が減少。「本屋で買う」が減少など読書環境の変化も。

## ● 読書行動（経年変化）



\*「あなたは、ふだん（学校の授業や宿題以外で）次のことをどのくらいしますか」という設問に対する回答（％）。

\*数値は、「よくする」「ときどきする」の合計（％）。「文学作品や小説・物語を読む」について中2、高2は、1990年は尋ねていない。

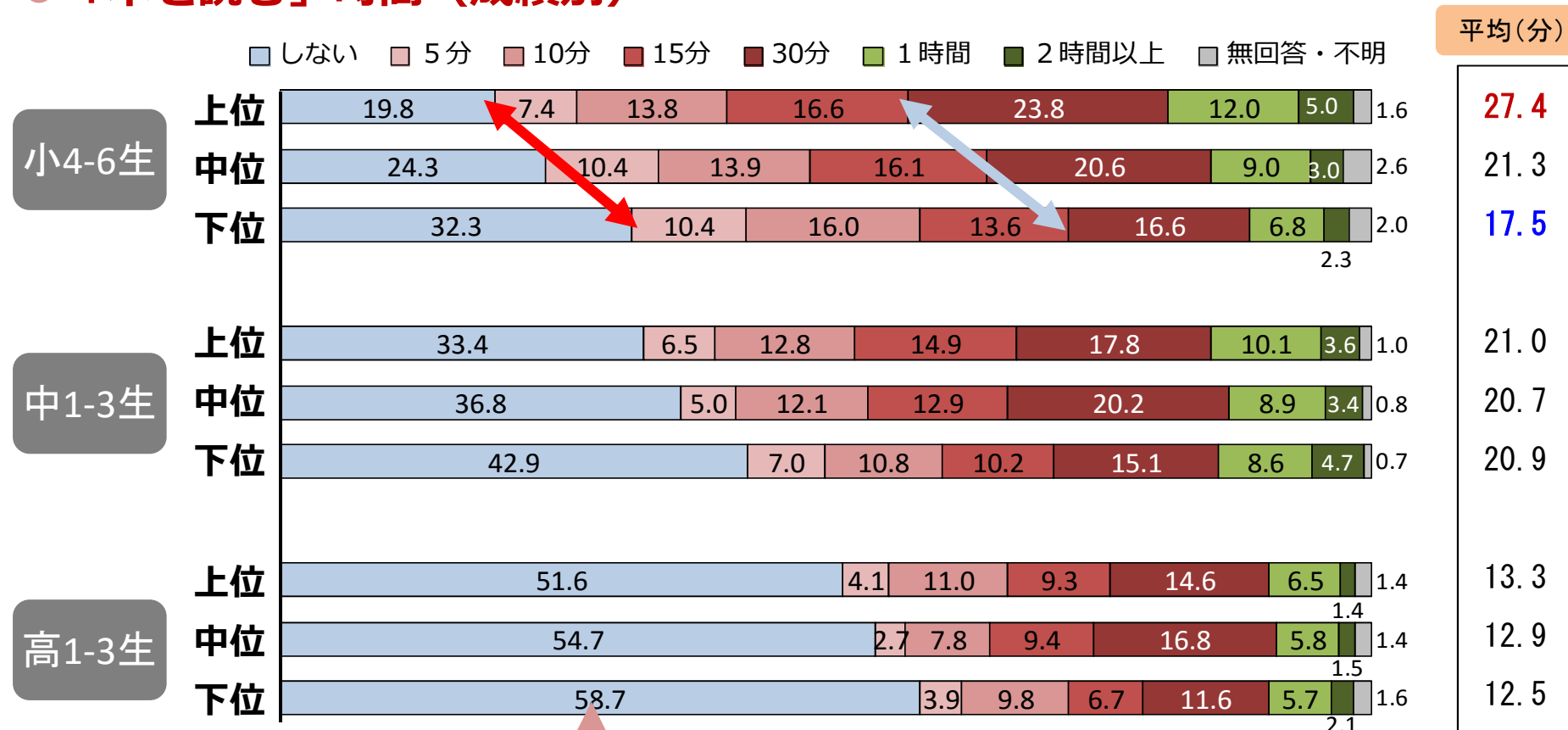
\*ベネッセ教育総合研究所「第5回学習基本調査」2015年。

## 「本を読む」時間の成績差

10

小学生までは見られた成績差が、中学、高校になるにつれて小さくなる

## ● 「本を読む」時間（成績別）



相対的にみて、成績上位層の読書時間の減少が大きい

\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*成績は自己評価によるもの。平均時間は読まない人＝0分として算出。無回答・不明は除外。

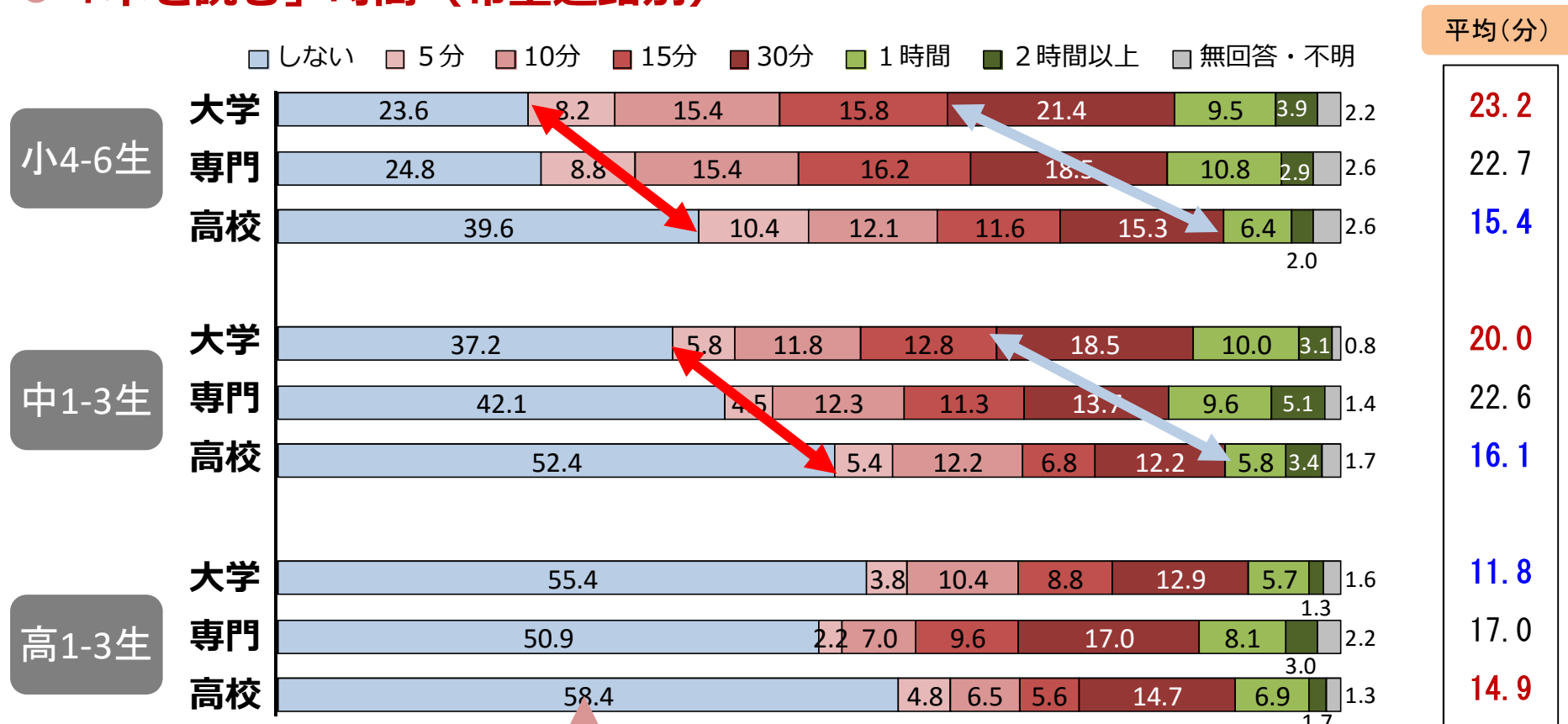
\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

# 「本を読む」時間の希望進路による差

11

高校では、「大学卒業」以上を希望する者の読書時間が減る

## ● 「本を読む」時間（希望進路別）



相対的にみて、大卒希望者の読書時間の減少が大きい

- \* 「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。
- \* 希望進路の「大学」は四年制大学以上、「専門」は専門学校・各種学校・短期大学、「高校」は高校・中学を希望する者。
- \* 東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

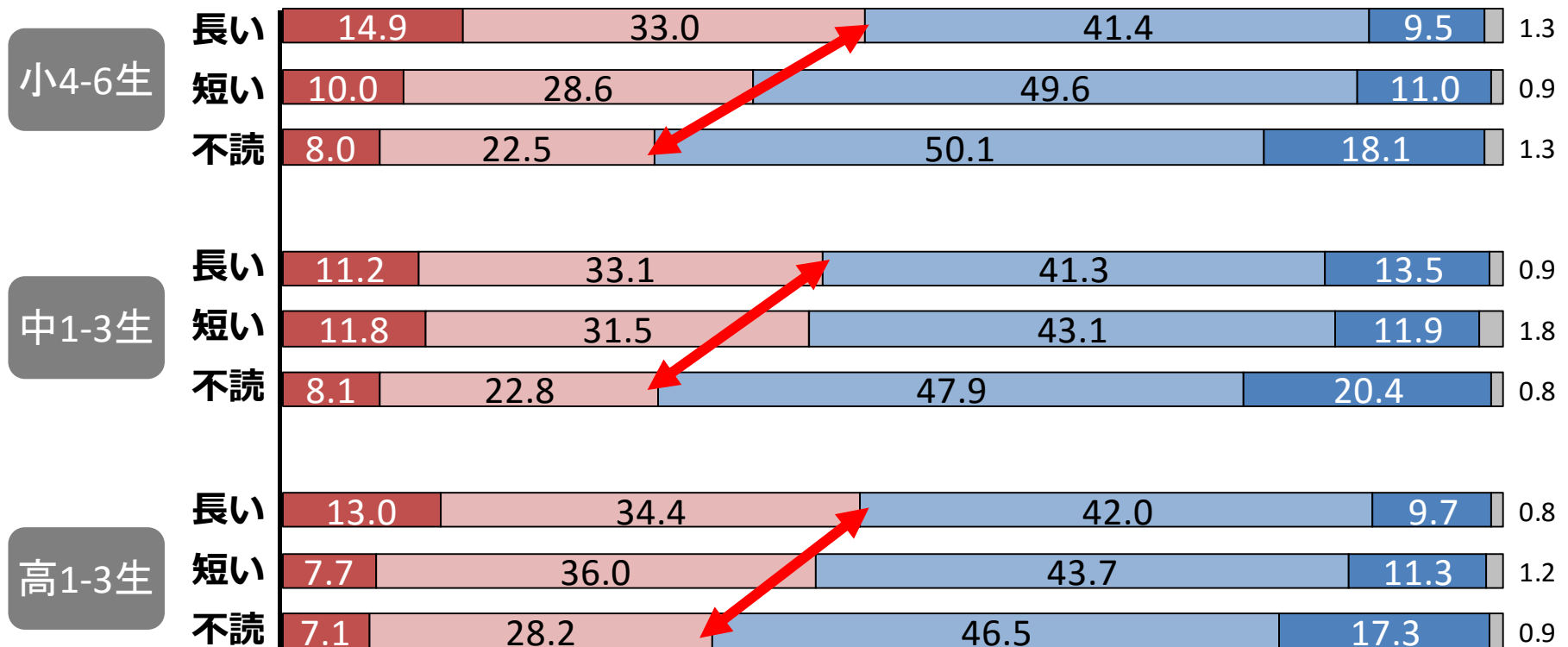
## 能力の自己評価との関連①

12

読書時間が長い子ほど、「論理的思考」が「得意」と回答

## ● 「論理的に（筋道を立てて）考えること」が得意か（読書時間別）

■ とても得意    □ やや得意    ■ やや苦手    ■ とても苦手    □ 無回答・不明



\*「あなたは、次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という設問に対する回答（％）。

\*読書時間は、「長い」を30分以上、「短い」を5～15分、「不読」を0分（読まない）とした。

\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

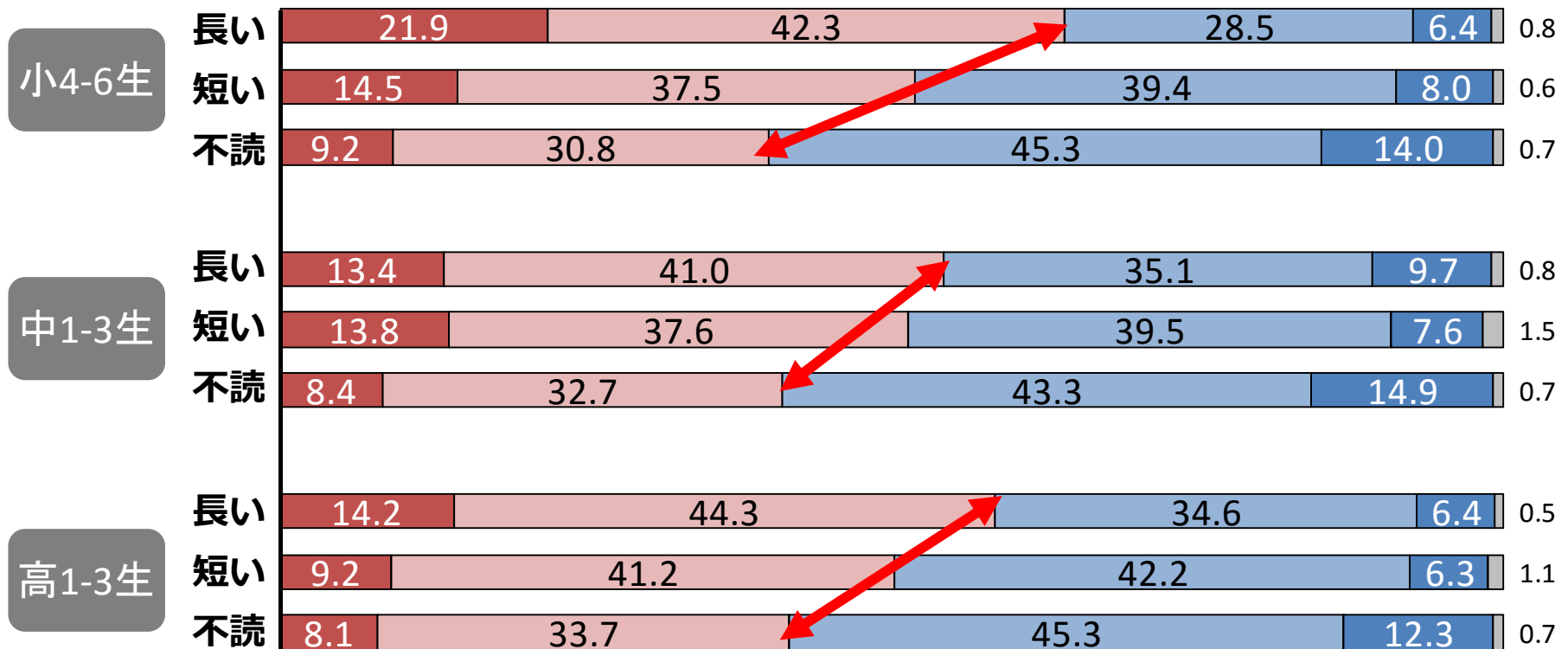
## 能力の自己評価との関連②

13

読書時間が長い子ほど、「調べること」が「得意」と回答

## ● 「分からないことや知らないことを調べること」が得意か（読書時間別）

■ とても得意    □ やや得意    □ やや苦手    ■ とても苦手    □ 無回答・不明



\*「あなたは、次のようなことが得意ですか、苦手ですか」という設問に対する回答（％）。

\*読書時間は、「長い」を30分以上、「短い」を5～15分、「不読」を0分（読まない）とした。

\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

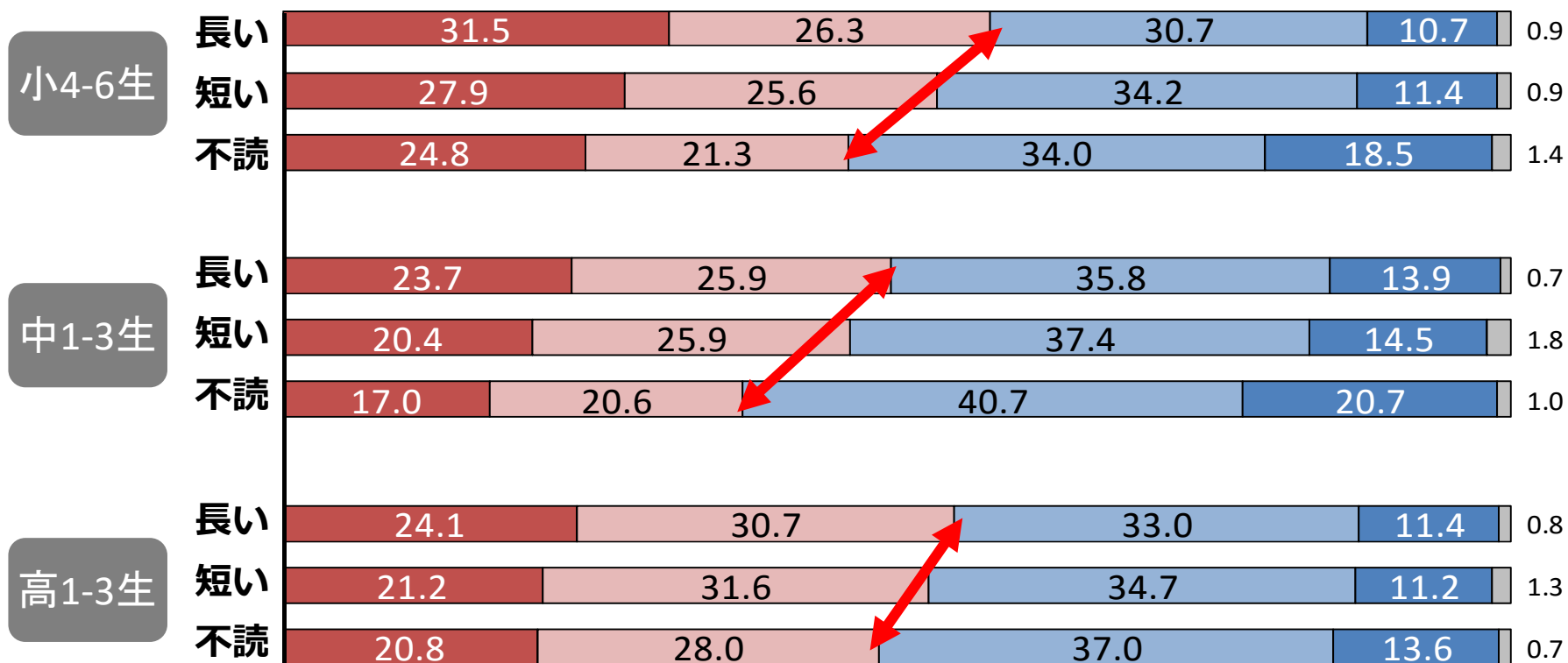
# 将来の目標との関連

14

## 読書時間が長い子ほど、「将来の目標」が「明確」と回答

### ● 「将来の目標がはっきりしている」があてはまるか（読書時間別）

■ とてもあてはまる ■ まああてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ 無回答・不明



\*「あなた自身のことについて、次のようなことはどれくらいあてはまりますか」という設問に対する回答（％）。

\*読書時間は、「長い」を30分以上、「短い」を5～15分、「不読」を0分（読まない）とした。

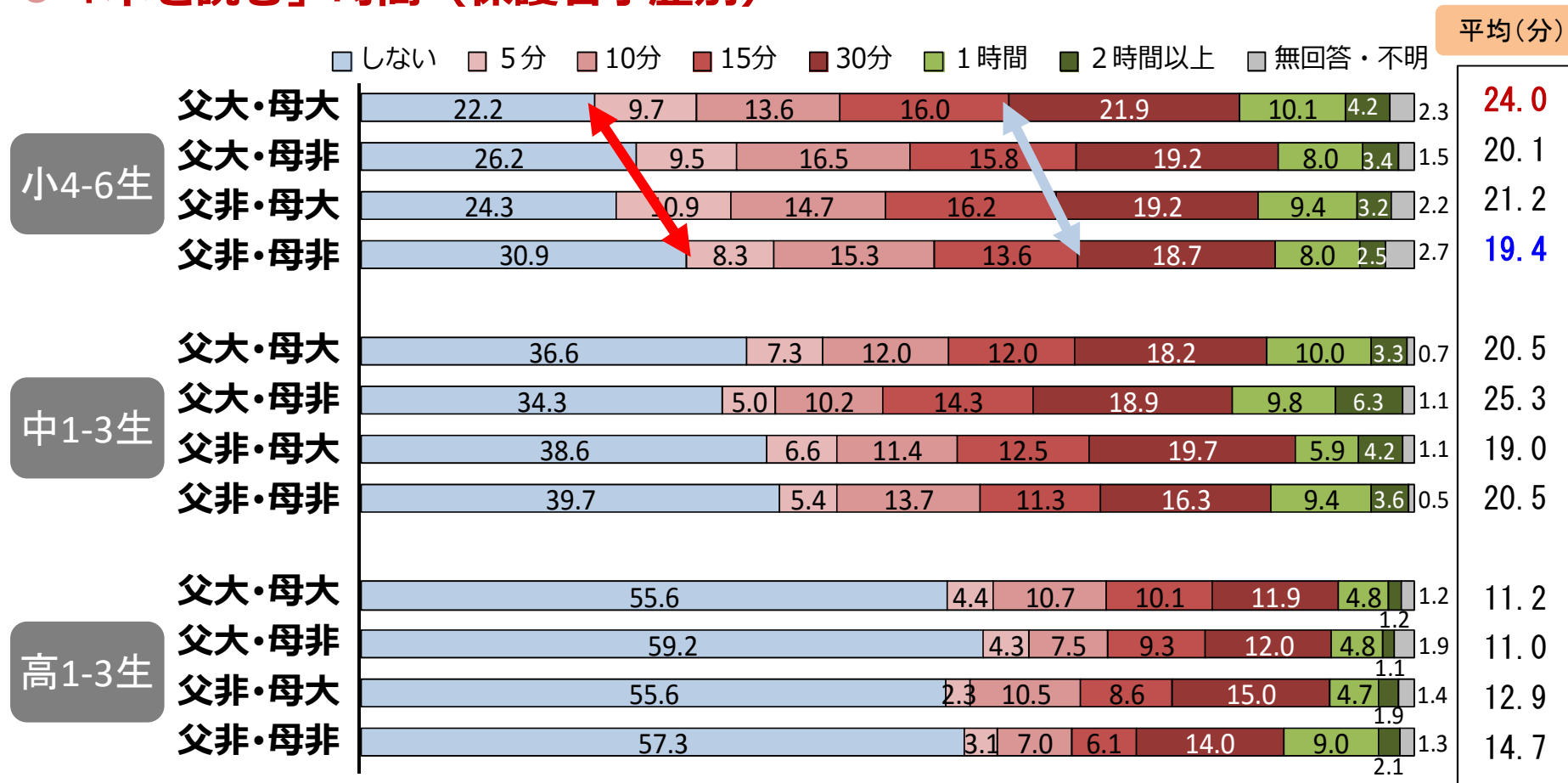
\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

## 「本を読む」時間の保護者学歴による差

15

保護者の学歴の影響は、小学生には見られるが、中高生には見られない

## ● 「本を読む」時間（保護者学歴別）



\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*保護者学歴について、「大」は大学卒業以上の者、「非」は大学を卒業していない者を示す。

\*平均時間は読まない人=0分として算出。無回答・不明は除外。

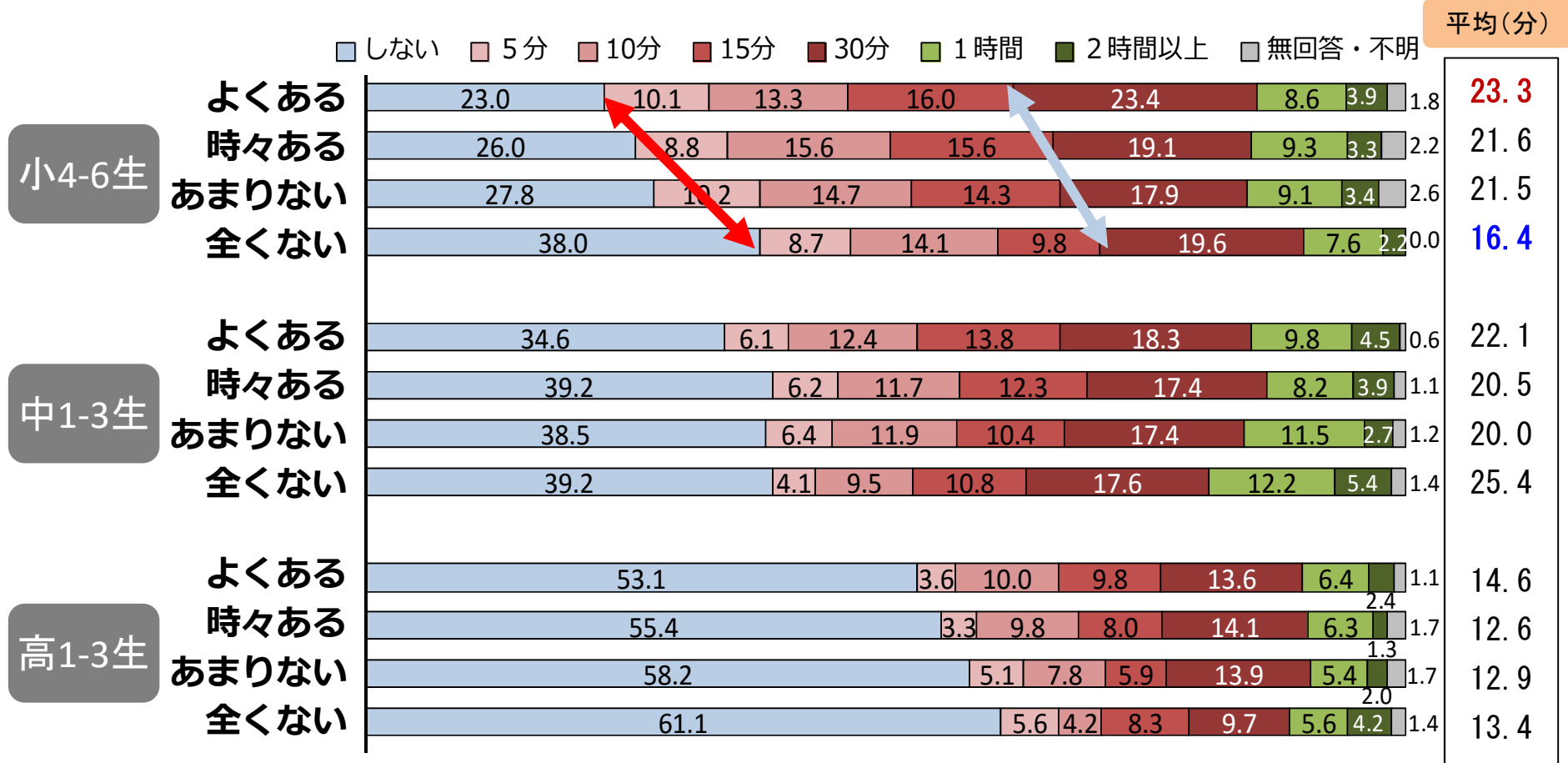
\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

## 「本を読む」時間の保護者の行動による差

16

小学生では「本などに感動する」保護者の子どもの読書時間が長い

## ● 「本を読む」時間（保護者「本やドラマ・映画などに感動する」別）



\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*保護者自身に「本やドラマ・映画などに感動する」かどうかをたずねた質問の回答別に示した。

\*平均時間は読まない人=0分として算出。無回答・不明は除外。

\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。



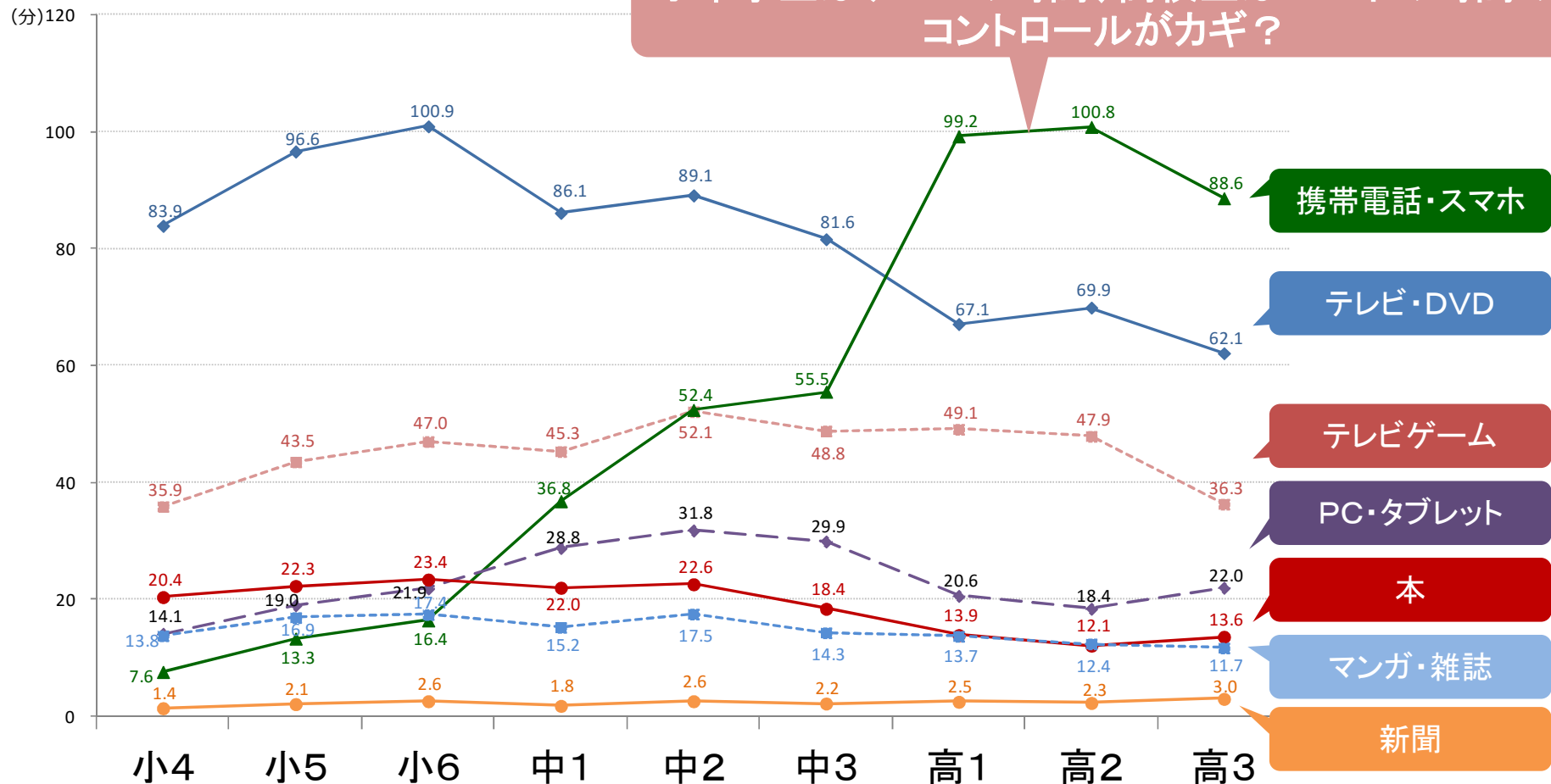
## 各メディアの利用時間

17

中学・高校で「携帯・スマホ」が増加し、「テレビ・DVD」が減少

●各メディアの時間（学年別）

小中学生はテレビの時間、高校生はスマホの時間のコントロールがカギ？



\*「あなたはふだん（学校がある日）、次のことを、1日にどれくらいの時間やっていますか」という設問に対する回答（％）。

\*平均時間は読まない人＝0分として算出。無回答・不明は除外。

\*東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」2016年。

## インターネットの利用内容

18

約3割の中高生が、ネットで「電子書籍や電子コミック」を利用

●インターネットの利用内容（学校段階別）

※母数は「インターネットを使っている」中学生の87.3%、高校生の96.9%

「メール（LINE含まず）」	中	63.2%	<	高	80.0%
「チャット（LINEなど）」	中	62.2%	<	高	90.1%
「Twitter」	中	28.1%	<	高	56.9%
「動画サイト(You Tubeなど)」	中	93.3%	≒	高	95.7%
「情報検索」	中	93.2%	≒	高	97.2%
「ゲーム」	中	64.2%	≒	高	63.1%
<b>「電子書籍や電子コミック」</b>	<b>中</b>	<b>34.5%</b>	<b>≒</b>	<b>高</b>	<b>34.9%</b>
「勉強」	中	60.8%	>	高	55.2%

\* 「あなたはふだん、インターネットを使って、次のようなことをどれくらいしていますか」という設問に対する回答。

\* 数値は、利用頻度に対する回答のうち「ほぼ毎日」「週3~4回」「週1~2回」「月1~2回」「月1回以下」の合計(%)。

\* ベネッセ教育総合研究所「中高生のICT利用実態調査」2014年。

## まとめと提言

- ①読書の時間は、子どもの生活時間全体のなかで数%。  
多忙な生活において、**他の時間とのかかわりを考える必要**がある。
- ②高校生は、成績や進路希望と読書行動の関連がなくなる。  
**学習が忙しくなり、読書の時間がなくなる**可能性が高い。
- ③学年が上がるにつれて本を読まなくなるが、  
**不読率が高まるのは小→中、中→高の接続期**。  
生活が変わるこのタイミングでの働きかけが重要。
- ④新聞を読む習慣が薄れたり、街に本屋がなくなったり、  
インターネットが普及したりといった**読書環境の変化を考慮した対策**が必要になる。
- ⑤家庭の影響がみられるのは小学生まで。  
**中高生は保護者への働きかけ以外の対策**が必要になる。

ベネッセ教育総合研究所